

災害対策・危機管理特別委員会

令和4年3月29日

1 報告事項

【政策経営部】

(1) 令和3年度避難所運営協議会及び防災訓練について

【資料】

2 その他

令和 3 年度避難所運営協議会及び防災訓練について

1 概要

避難所運営協議会及び防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが生じるため、令和 2 年度は協議会を 2 箇所のみ実施し、訓練は実施できなかった。令和 3 年度の協議会・訓練については、感染状況を踏まえながらも対策を講じることとして、各運営協議会の意向などを確認しながら可能な限り実施に取り組んだ。

2 避難所運営協議会

(1) 運営方法

感染症対策として【Web 会議システムを使用した施設内でのオンライン開催】や【広い会場を使用して密を防ぐ】といった対策を講じて 7 箇所の避難所運営協議会を実施した。

<協議会の開催状況>

会場	実施日	実施方法	会場	実施日	実施方法
神田さくら館	R3. 8. 28(土)	Web 活用	九段小学校	R3. 10. 21(木)	広い会場
麴町中学校	R3. 9. 2(木)	広い会場	神田一橋中学校	R3. 11. 6(土)	広い会場
麴町小学校	R3. 9. 3(金)	広い会場	番町小学校	R3. 12. 13(月)	広い会場
区立スポーツセンター	R3. 9. 11(土)	Web 活用			

(2) 会議の内容

委員名簿の確認や地区防災計画の普及啓発、感染症流行下の避難所運営等について説明を行った。また、令和元年台風 19 号の接近時、自主避難所として開設した避難所に関する課題と対策などを協議会として情報共有し、意見交換などを実施した。

	主な課題点	対応
1	自主避難所の開設について不明確であった。	出張所を自主避難所とすることや、その開設基準や運用方法について明確にした。
2	避難所開設の連絡手段が不明確であった。	各協議会委員の連絡網作成と共有を打診し、整備を進めている。
3	避難所の開設手順について、不明確であった。	鍵の開錠や、開設初動作業のマニュアルを作成し、手順の明確化と共有を図っている。
4	避難所開設時に、現状の協議会委員だけでは人員体制に不安がある。	町会青年部や学校関係等の比較的実動が期待できる方の委員への追加を打診している。

(3) 新たに作成したマニュアルについて

今年度は特に避難所の開設時に焦点を当て、新たに 3 種のマニュアルを避難所毎に作成した。

- ① **避難所開設アクションカード**：避難所開設の手順をカード形式 (A4) で順番に提示するもので、運営本部の設置手順や備蓄倉庫の場所や配置などを避難所の図面を用いて記載している。

- ② 鍵の開錠マニュアル：鍵保管者の鍵が施設のどこに対応するのか図や写真で示したもの。
- ③ ゾーニングマニュアル：コロナ禍での開設を想定し、発熱者等の隔離場所の例示したもの。

これら3種のマニュアルについては、協議会実施時に委員長及び鍵保管者と共有、さらに現地視察も実施してより実践的な確認を行った。なお、今年度に協議会未実施の地区に対しても、個別に説明に伺うなどして、各避難所で情報に差が生じないように取り組んでいる。

＜協議会未実施箇所への対応状況＞

対応済み：富士見みらい館、旧今川中学校、都立一橋高校

年度内調整中：昌平童夢館、アーツ千代田 3331

次年度早期予定：岩本町ほほえみプラザ、ちよだパークサイドプラザ

3 避難所防災訓練

(1) 「防災フェア方式」について

感染リスク低減のため、人と人が密接に触れること避けるため、テーマごとのブースを見学する型式（フェア方式）の防災訓練を実施した。

テーマ	感染症流行下の避難所運営
ブース	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難所開設の紹介 受付の設置状況デモ、避難所開設キットやマニュアルの紹介等 ② 避難生活場所レイアウトの紹介 避難スペース区画表示の紹介、ダンボールベッド、間仕切りの組み立て実演等 ③ 感染症専用スペースのゾーニングの紹介 ゾーニングの説明、感染対策用テントの組み立て実演等 ④ 備蓄品・資器材の展示と紹介 蓄電池、携帯トイレ、非常食の紹介等
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を限定（避難所運営協議会委員）、会場は体育館とし、換気を実施。 ・参加者を班別にし、複数ブースを別に見学することで参加者の一極集中を防止。

(2) 訓練実施状況

会場	実施日	参加人数(委員)
区立スポーツセンター	令和3年10月9日(土)	17名
麴町中学校	令和3年11月13日(土)	14名
神田さくら館	令和3年11月20日(土)	24名

(3) 令和4年度以降の訓練について

従前から実施している実動訓練・図上訓練に加え、防災フェアも訓練メニューに追加した上で、各協議会（特に未実施箇所）の意向を確認し、ニーズやその時々状況に応じて、適切な防災訓練を実施していく。また併せて、地区防災計画の策定検討についても順次、各協議会に提案を行う。

感染症対策用テント等数量

	施設名称	感染症対策用 テント	ダンボール ベッド	ダンボール パーティション
1	麴町小学校	15張	130台	170セット
2	九段小学校	15張	140台	140セット
3	番町小学校	15張	45台	45セット
4	麴町中学校	15張	40台	40セット
5	富士見みらい館	15張	170台	235セット
6	お茶の水小学校	15張	60台	115セット
7	神田一橋中学校	15張	70台	70セット
8	神田さくら館	15張	40台	80セット
9	昌平童夢館	15張	80台	140セット
10	アーツ千代田3331	15張	20台	20セット
11	ちよだパークサイドプラザ	15張	55台	110セット
12	旧今川中学校	15張	25台	110セット
13	都立一橋高校	15張	30台	30セット
14	区立スポーツセンター	15張	35台	35セット
15	岩本町ほほえみプラザ	15張	50台	50セット
	合計	225張	990台	1390セット